

令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

1 目的 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査日時 令和3年5月27日(木)

3 対象学年 小学校第6学年、中学校第3学年

4 調査事項

(1) 児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査

(ア) 小学校調査は、国語及び算数とし、中学校調査は、国語及び数学とする。

(イ) 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(ウ) 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

イ 質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査（以下「児童生徒質問紙調査」という。）を実施する。

(2) 学校質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査（以下「学校質問紙調査」という。）を実施する。

5 調査結果

【平均正答率 %】

対象学年	小学校 第6学年			中学校 第3学年		
	武蔵野市(都との差)	東京都(公立)	全国(公立)	武蔵野市(都との差)	東京都(公立)	全国(公立)
国語	75 (+7)	68	64.7	73 (+6)	67	64.6
算数・数学	81 (+7)	74	70.2	68 (+8)	60	57.2

※「都との差」については、市教育委員会で追記した数値。

6 教科に関する調査結果のポイント

○小学校国語

- ・新学習指導要領で示された「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること」を踏まえた「話すこと・聞くこと」に係る出題について、資料を用いる目的を理解したり、目的や意図に応じて、資料を使って話したりすることはできている。

- ・目的に応じて、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付けて読むことについて、引き続き課題がある。

○中学校国語

- ・文章を読み、登場人物の言動の意味を考え、内容を理解することはできているが、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつことに課題がある。

- ・過年度の小学校調査において見られた課題に関連した出題において、相手や場に応じて敬語を適切に使うことに課題がある。

○小学校算数

- ・速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことはできているが、速さを求める除法の式と商の意味を理解することに課題がある。

- ・「データの活用」の領域について、帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述することに課題がある。

○中学校数学

- ・「関数」の領域について、日常的な事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに引き続き課題がある。

- ・データに基づいて事象を考察する場面において、データから中央値を求めることに改善の傾向がみられる。一方、2つの分布の傾向を比べる際の相対度数の必要性と意味の理解に課題がある。